

東京大学史料編纂所維新史料室研究会

2009年10月14日10時～

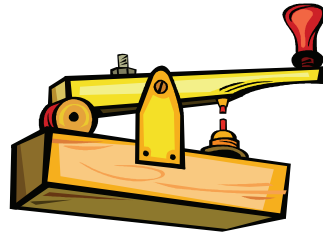
東京大学史料編纂所中会議室

長島要一(コペンハーゲン大学教授)

## ウィリアム・ブラムセン(1850-81)の 『和洋対暦表』(1880)をめぐって

### 報告者から

維新时期に大北電信会社の電信士として長崎に滞留した若きデンマーク人を取り上げます。そのうちの三人は、日本研究書、旅行記、日記と、三者三様の記録を残してしまし、それ自体興味が尽きることはありません。史料編纂所では、特に、『和洋対暦表』(1880)などを発表、Asiatic Societyでも活躍していた逸材ウィリアム・ブラムセン(1850-81)について話をしたく思っています。若いからできたのでしょうか、短期間で日本語の読み書きを修得、古銭の蒐集から入って、必要上から暦の研究をして画期的な仕事を残したまま、夭折してしまった惜しい人物です。



### 維新史料研究会について

東京大学史料編纂所維新史料室では、これまでも内外の研究者をお招きして、小さな研究会を催してきました。

今回は、コペンハーゲン大学教授で日本＝デンマーク関係史を研究されている長島要一さんに、大北電信会社の技師ウィリアム・ブラムセンの日本研究についてお話していただくことができました。長島さんは、その他にも『森鷗外：文化の翻訳者』(岩波新書)やアンデルセン翻訳・研究をされています。

会場はこちら(福武ホール地下1階)です

お問い合わせ&お申し込みは

本所HPまたは文京区本郷7-3-1東京大学史料編纂所横山気付:電話03(5841)8410  
までどうぞ